事業実施に
ご協力を
お願いします。

踏切すいすい大作戦

連続立体交差事業は「道路特定財源」などにより
道路整備の一環として実施しております。

お問合せ・連絡先

三重県四日市建設事務所プロジェクト推進室
中心市街地課
tel.059-352-0679

http://www.pref.mie.jp/HKENSET/HP/

近鉄川原町駅周辺総合整備事業

街、道、川…。
そして暮らしが
生まれ変わります！

三滝川河川
改修事業

川原町駅付近
連続立体
交差事業

国道477号
西浦バイパス
道路改良事業

三重県
四日市市
近畿日本鉄道株式会社

目的

近鉄川原町駅周辺総合整備事業の目的

街が便利に、暮らしやすくなります！

近鉄川原町駅周辺総合整備事業は、「近鉄川原町駅付近連続立体交差事業」、「三滝川河川改修事業」および「国道477号道路改良事業」を基本事業とし、以下の3つを目的に総合的なまちづくりを行うものです。

一体的なまちづくり ＋ 地域の治水安全度の向上 ＋ 踏切除却による東西交通の円滑化

近鉄川原町駅周辺は、整備が進む新名神高速道路や北勢バイパスなどの広域交通網と市街地部とを結ぶ国道365号（（都）四日市関ヶ原線）、477号や国道1号など主要な道路が通過する交通の要所です。以前から踏切除去による交通円滑化の必要性が高く、昭和46年に連続立体交差事業の都市計画決定がなされましたが未着手となっていました。近年、365号、477号周辺地域における住宅開発や大規模商業施設の立地に伴って交通量が増大し、渋滞や踏切事故などの問題が顕著になり、連続立体交差事業着手とそれにあわせた周辺の道路整備が求められていました。

一方、三滝川は市内を東西に縦貫する重要な河川であり、豪雨や高潮による洪水災害を防ぐため順次整備を進め、堀木橋～四日市橋間と三滝新川を除き、概ね完成していますが、最大の可積阻害区間である近鉄橋梁付近の整備の早期実現が懸案となっていました。

このため、三重県では、地域の皆さま、国、四日市市、鉄道事業者である近畿日本鉄道株式会社と協議・調整を進めてまいりましたが、今般、連続立体交差事業、河川改修事業および道路改良事業を基本事業とした『近鉄川原町駅周辺総合整備事業』を施行することとしました。これにより、懸案となっていた課題の解消、事業の円滑な推進、各事業間の相乗効果が期待されます。なお、近畿日本鉄道株式会社と平成19年11月1日に協定を締結し、事業の施行区分等を定め、協力して事業に当たることを確認しています。

事業概要

三滝川河川改修事業

区　間／近鉄三滝川橋梁付近

概　要／三滝川河川改修は、河川の拡張と近鉄橋梁の架替え、河川内にある国道477号の撤去を行い、三滝川下流部における最大の河積阻害区間を解消し、治水安全度の向上を図るものです。あわせて、堀木橋から四日市橋（国道1号）までの河川整備を進め、親しまれる水辺空間を創出いたします。

国道477号道路改良事業

区　間／四日市市西町～西浦2丁目

概　要／国道477号は四日市市市街地で国道1号に接続する重要な路線です。しかし、今回の事業区間である堤防上および河川内の道路は、踏切による朝夕の渋滞や河川増水時の通行規制など交通の支障となっています。そこで、踏切除去と交通機能確保のため、バイパスとして堤防の市街地側に鉄道と立体交差する道路を整備します。

近鉄川原町駅付近連続立体交差事業

区　間／三滝川～海蔵川間

概　要／仮線方式により線路を高架化し、4箇所の踏切を除去します。これに伴い高架駅となる川原町駅には、エレベーター、待合室等を新設します。また、都市計画道路四日市関ヶ原線など交差する道路を高架工事にあわせ整備いたします。

工事方法

工事は仮線方式で実施します。

〈仮線方式〉

①現在線の西側に仮上り線を設置し移設。

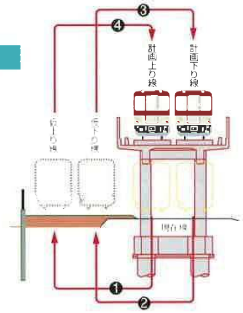
②現在線の西側に仮下り線を設置し移設。

③現在線付近に高架橋を構築し、下り線を移設。

④構築した高架橋に上り線を移設。

移設後は、仮線を撤去し、道路を復旧します。

標準横断図



廃止踏切と立体交差化道路

廃止踏切		立体交差化道路	
名　称	幅　員	名　称	幅　員
四日市第3号踏切	5.8m	国道477号	8.0m
四日市第4号踏切	8.0m	（都）四日市関ヶ原線	12.0m
四日市第5号踏切	2.8m	区画道路	6.0m
四日市第6号踏切	4.1m	（都）川原町駅前線	16.0m
—	—	区画道路	6.0m
川原町第1号踏切	4.0m	（都）午起末永線	22.0m

事業経緯

昭和16年	三滝川・海蔵川全体計画策定・事業着手
昭和46年　7月	連続立体交差事業都市計画決定（四日市駅部区間含む）
平成18年　4月	都市河川鉄道橋・道路橋緊急対策事業採択
平成18年　4月	国道道路特殊改良（一種）事業採択
平成19年　2月	連続立体交差事業事業認可
平成19年11月	総合整備事業工事協定締結
平成26年　3月	事業完了（予定）

近鉄川原町駅付近連続立体交差事業

踏切のない、
快適なまちへ

踏切のない、
安全・安心のまちへ

無駄な排気ガスも減少し、
環境にやさしいまちへ

連続立体交差事業の実施により、踏切待ちによる交通渋滞が解消され、騒音や排気ガスの少ない環境に優しいスムーズな交通を確保します。また、幹線道路を始めとする周辺道路の整備をあわせて行うことにより、地域が一体化され、街の活性化が期待されます。

現　在

◀対面通行ができない
川原町第1号踏切

完成予想

連続立体交差事業と同時に駅前広場・公園整備を実施し、緑のあふれる憩いの場を創出します。また、歩行者や自転車が安心・安全に行き来できるようになるため、人の動きが活発になります。その他、高架下が有効利用できるため新たな都市空間も生まれます。

現　在

◀人と車が輻輳する
四日市第6号踏切

完成予想

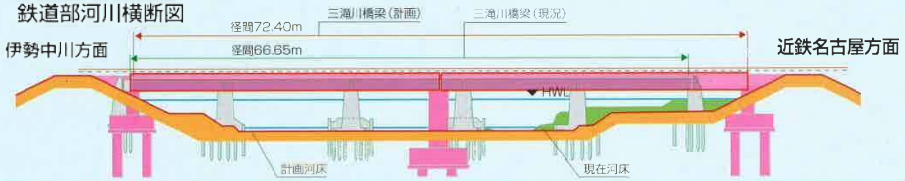
三滝川河川改修事業

現　在

◀増水時の三滝川

完成予想

鉄道部河川横断図



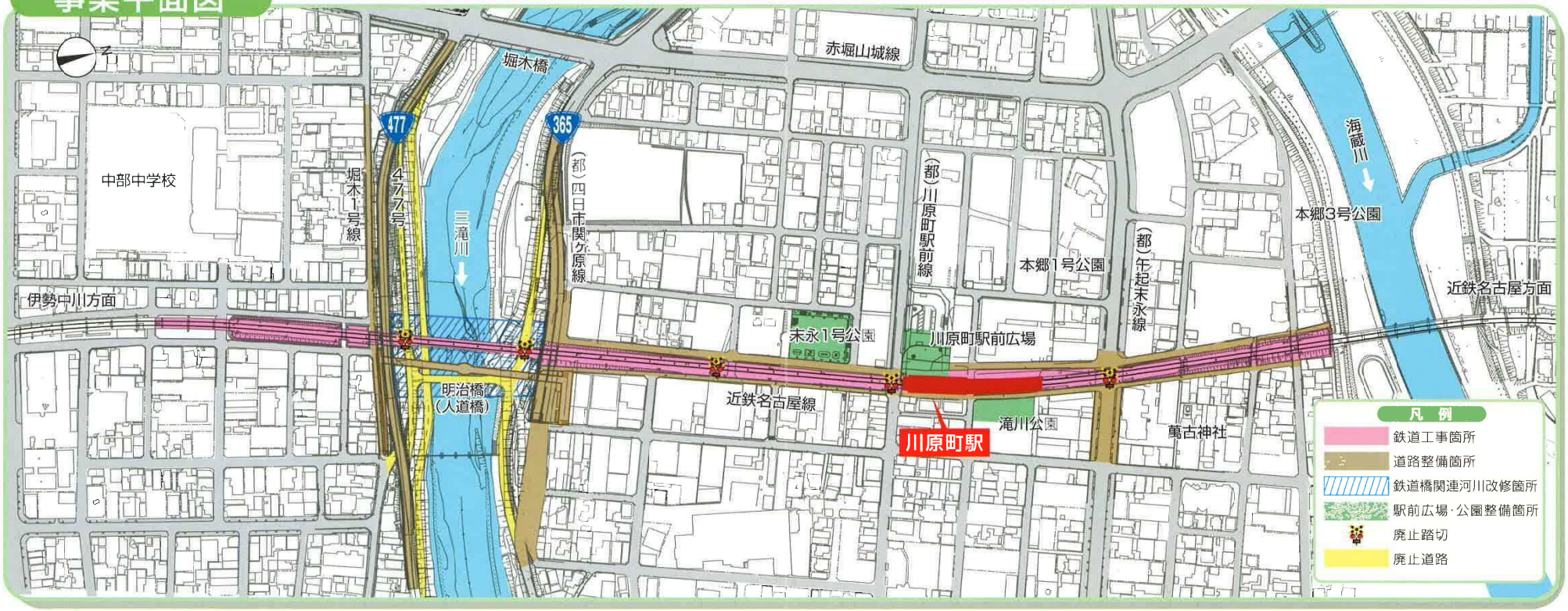
国道477号道路改良事業

現　在

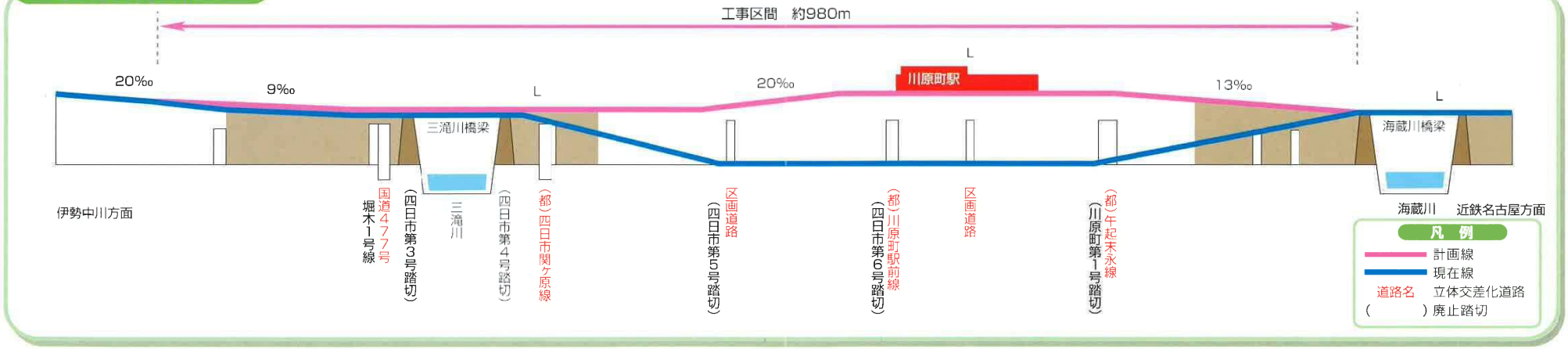
◀増水時に水没した
河川内道路

完成予想

事業平面図


N
赤堀山城線
堀木橋
477
365
中部中学校
堀木1号線
477号
三滝川
(都)四日市関ケ原線
(都)川原町駅前線
本郷1号公園
(都)午起末永線
海蔵川
本郷3号公園
近鉄名古屋方面
伊勢中川方面
末永1号公園
川原町駅前広場
明治橋
(人道橋)
近鉄名古屋線
滝川公園
萬古神社
川原町駅
凡 例
鉄道工事箇所
道路整備箇所
鉄道橋関連河川改修箇所
駅前広場・公園整備箇所
廃止踏切
廃止道路

事業縦断図


工事区間　約980m
20‰
9‰
L
三滝川橋梁
20‰
L
川原町駅
13‰
L
海蔵川橋梁
伊勢中川方面
国道477号
堀木1号線
(四日市第3号踏切)
三滝川
(四日市第4号踏切)
(都)四日市関ケ原線
区画道路
(四日市第5号踏切)
(都)川原町駅前線
(四日市第6号踏切)
区画道路
(都)午起末永線
(川原町第1号踏切)
海蔵川
近鉄名古屋方面
凡 例
計画線
現在線
道路名　立体交差化道路
(　　)廃止踏切